



平成20年12月17日  
掬水まちづくり協議会  
第26号

### 掬水地区自主防災訓練 雨の中実施！

・日時十一月十六日(日)午前中

・訓練内容 (運動場と体育館にて)

- 1、消火器による消火訓練
- 2、バケツリレーによる消火訓練
- 3、土嚢づくりと土嚢積み訓練
- 4、消火栓とホースの接続訓練
- 5、ホースの接続と収納訓練
- 6、担架作りと応急手当等の救助訓練
- 7、体育館で火災ビデオ鑑賞
- 8、普通救命講習会 (市民センターにて)



普通救命講習の様子

・来年はもう少し、参加者を早く募るなど、増やしたい。

・雨天の場合を考え、櫛田川の河川敷の利用を考えてはどうか。使った後の運動場整備は不要で、ホースの汚れも少ないのではないかな。

・訓練内容や参加者募集など自治会への連絡が大変遅かった。計画的に早く全体の様子を連絡徹底すべきである。

・普通救命講習会があったのだ

### 反省点

当日は雨の中にもかかわらず、たくさんの方の参加があり熱心な訓練が実施され、いろんな取り組みが行われました。

早速、二十五日に本部役員会が開催され、反省会がもたれました。その主なものを挙げてみます。

・天災は何時起こるかも知れない、雨天での決行はやむを得ない事だ。しかし、雨天の場合、当初、体育館での実施となっていて、事前の連絡が曖昧であった。きちんと雨天でも決行するとして、参加者へ合羽などの着用を連絡すべきであった。

・バケツリレーなど、雨の中での指導ははっきりせず、訓練の仕方が徹底しなかった。

が、肝心のAEDは「どこに」「どの位の数」があるのか分からない。避難場所の表示のように広く地域の人に看板を出すなど表示をすべきだ。



バケツリレーの様子

### 住民のいえ

#### 自主防災訓練に参加して

豊原町第六町内会長

岡田 茂生

私達家族が豊原町に引越して十年になり、周辺の生活環境は整備されつつあり、便利になってまいりました。

私は、今年度町内会長をさせて頂き、皆様のご協力により何とか頑張っております。十一月十六日(日)、雨の中掬水地区防災訓練が小学校で行われ、初めて参加させて頂きました。

まず初めに、消火活動のバケ

ツリレーの訓練をしました。一列に並んでするのかと思いましたが、二列に交互に並んで前の人に順番に渡して行く方法を教わりました。この方法は、楽に早く水を送れる事が分かりました。

次は、災害の時の土のう造り、積み訓練をしました。砂を半分ぐらい入れ、紐で結び崩れてこない様に積み訓練をしました。

次に、消火栓接続、ホース接続訓練は消防署の方がされ、最低五人ぐらいは必要で女の方でも合図をする等出来る事があるので皆で協力して消火活動する事が大切だと思いました。次に、消火器の取り扱い訓練を習いました。

最後には、怪我をした時の三角巾で傷の血止めの処置の方法を習い、又、毛布と二本の竹を使って担架の作り方を習いました。

以上の様な訓練を習い感じた事は、高齢化社会が進む中、家庭も地域も同じで日常のコミュニケーションが大切で皆助け合いい、協力をして行く事がいざと言う時のあらゆる災害の防災につながるのではないのでしょうか。

### 大勢の参加のもと、クリーン作戦が実施！

今年、校区外(東西黒部地区など)の東部中生徒さんの参加もあり、中学生の参加は九十名と大変多くなりました。これは、本部役員が事前に東部中学校を訪れ、集会で参加を呼びかけたこと、中学校の先生方が熱心に生徒に呼びかけたことなどが、大きな後押しになったようです。東部中の先生方、生徒

朝の受付の様子



十一月二十四日(月)午前中

### 集合場所

市水道部 第一水源地事務所

心配された天候も大変穏やかな暖かい日の中で実施されました。参加者は、一般参加が三百名、小・中学生の参加が百名と合計、四百名となり、大盛況でありました。毎年、百名ずつ参加者が増え、地域の皆さんのご理解とご協力のおかげと思われ

さん本当にありがとうございました。

二十五日の本部役員会の反省会では次のような点が挙げられました。(反省点)

・今年には産業振興部の方々がよく動いていただいた。部会の活躍が大変良かった。本来の姿であり、今後の部会活動の手にし、期待をしたい。

・市役所だけでなく国土交通省にも参加を呼びかけるべきだ。終わりの合図が徹底せず、山添地区や中学生の戻りが遅くなった。事前に作業の終了をどのように伝え、徹底すべきかを確認しておくべきであった。

・中学生が容器の中のものを抜き取ろうとして、目に何かが入ったようだ。大事には至らなかったが、本部席へも救急箱などを用意すべきだ。

・スプレー缶など拾うとき、中身のものを抜き取るものがないよう、参加者に事前の指導をしておくべきである。  
・中学生の挨拶がきちんとできていたのが良かった。

・ゴミの袋に可燃物と不燃物とが混ざっていて最後の仕分けが大変だった。でもゴミを拾う場合、どうしても混ざってしまうので、最終の集積場で分別をすべきだ。今回のよう

に二人では少なかった。

・各地区の評議員さんに参加をさせていただき、活動の様子をもっと知っていただくべきである。来年は各地区の受付などをさせていただくべきだ。

・防災訓練の日の一週間後と繋がった。また祝日を避けるなどもっと日程を考えるべきだ。参加者数も増え良かった。将来は九つの地区でクリーン作戦を一齐に実施できるとよい。その方向で考えるべきだ。

温かくておいしい芋汁を準備中の皆さん



住民のこぼれ  
クリーン作戦に参加して

東部中 三年

豊原町 森田健斗

私は初めて櫛田川クリーン作戦に参加しました。集合場所の

上水場に着いたときとても驚きました。参加者の人数が私の予想をはるかに上回っていましたからです。環境を良くしようと思っている人がこんなにたくさんいると知り、私はとても嬉しくなりました。

櫛田川の堤防を地区別に分かれ、列を作り作業をしました。堤防には、空き缶と煙草の吸殻がたくさん捨てられていました。ゴミを捨てている人は、自分が何気なく捨てたゴミをたくさん

の人が汗を流しながら拾っているというのを知らないのだと思います。そういう人達にこういう活動があるということを知ってもらい、環境に対する意識を変えてもらえるような運動をしたいと思いました。テレビ、自転車やタイヤなど、びっくりするゴミもたくさん落ちていました。一つ一つ皆さんと協力し

丁寧に拾っていききました。一緒に活動しているうちに地区の人とも仲良くなれて、一時間の作業もあっという間でした。作業を終えた後、櫛田川の堤防はとてきれいな状態になっていて、私まで清々しい気持ちになりました。上水場に戻りみんなで食べた里芋汁と豚汁は最高でした。

櫛田川のクリーン作戦に参加し、私の環境に対する意識が変わりました。機会があれば友達

を誘いまた参加したいです。

作業中の東部中の皆さん



東部中 二年

機殿地区六根町 中井詩乃

クリーン作戦に参加して、櫛田川にはたくさんさんのゴミがあり、こんなにも「ポイ捨て」をしていく人がいるんだと思い驚きました。

「ポイ捨て」をするのは簡単だけど、それをきれいにしようとするのは、結構、大変というところがよく分かりました。ゴミを拾っていると、タバコの吸殻やテレビなど大きなゴミも捨ててありびっくりしました。その中にはペットボトルも捨ててあり、「なぜリサイクルをしないのかわない」と、疑問になりました。

こんなにも朝早く、しかも休日だったのに大勢の人が、櫛田川を綺麗にしようと思ひ、たくさんの方が来ていました。みんなが一生懸命頑張ったので一時

作業中の自治会の皆さん



間も早く終わり櫛田川も綺麗になりました。これからは、「ポイ捨て」をする人が少なくなり、最後にはなくなることを願っています。

回収されたゴミ



(次ページへ続く)

楡田町 (匿名希望)

楡田川のクリーン作戦に初めて参加しました。第一水源地にたくさんの方が集まり中学生の子どもたちも大勢来ていて、参加者の多いのに驚きました。

ゴミ拾いを始め、空き缶、ビン、タイヤ、テレビなどいろんなものが捨てられていました。みんなが集めているとき、昨年ほもつとゴミが捨てられていたと聞きました。だんだん不法投棄がなくなっているみたいですが、わたしもゴミの分別をきちんとして、決められた日に出そうと思っています。

環境問題プロジェクトチームより皆へお尋ねします。

「ご存知ですか！  
十一月十一日よりレジ袋は有料化となります。

挨拶・ごみ減量推進協力家庭  
できるところから運動

掬水まちづくり協議会  
期：平成22年1月末

1、スーパージョウなどへマイバックを持参していますか。スーパージョウなどで段ボール箱を要求していませんか。

2、ゴミの収集日の約束を守っていますか。

・当日の朝八時までに出す。  
・袋は透明か半透明のもの。  
・燃えるゴミの中に、不燃物を混ぜない。

3、ペットボトルはよく洗って、キャップはプラスチックへ分別してありますか。

シリーズ あいさつ  
小中学生の声

あいさつ

小学校二年 山中ゆうた

ぼくは、朝いろんな人に会って、「おはよう。」とあいさつします。前は、ときどきあいさつをしなかったり、あい手からあいさつをされないといふことがありました。でも、学校でのあいさつ運動で、じぶんからあいさつをするようにつづけていたら、じぶんからあいさつをすることができるようになりました。

あいさつは、あい手からされるとうれしい気持ちにさせてくれるし、あい手も、あいさつをされたら、うれしい気持ちにな

できることから運動  
東部中学校 二年

楡田町 松林翔太

ったり、元気がない時には元気になるのいいことだと思いません。学校や地いきの人などみんながおたがい元気な声で進んであいさつをしていいたら、毎日が楽しく明るくなると思います。ぼくは、じぶんもみんなもい気もちになるようにこれからは大きな声であいさつをしていきたいです。そして、「おはよう。」のほかにも「いただきます。」や「さようなら。」などのあいさつもしつかりやってきたいです。

地域を明るくするために、僕ができることは、知らない人にも出会った時、必ずあいさつをすることだと思えます。僕は、登下校の時に地域の方々があいさつを下さるととても元気になります。僕が元気になるんだから、自分からあいさつをすれば、地域の方もきっと元気になるんじゃないかと思っています。

でも、最初は、恥ずかしくてなかなか大きな声が出せず、小さな声しか出せませんでした。しかし、よく考えてみると、地域の方々は、朝、眠たい時に

大きな声を出してくれるので、知らず知らずにある時から僕も負けずに大きな声を出していました。地域の皆さんの励ましのおかげで、大きな声で挨拶ができるようになり、いつも安全に登下校ができます。本当にありがとうございます。

これから後も、僕にできることは地域の行事にひとつでも多く参加することだと思います。僕が初めて参加したのは、この前の楡田川沿いのクリーン作戦でした。それは、いろんな町を潤す存在である楡田川が少しでもきれいになるからです。ひとりでは掃除をしにくいけど、みんなで声を掛け合えば、きれいになるし、地域の交流も深まって、いいことづくしだと思います。思ったよりゴミは少なかったと思います。でもゴミは捨てないでほしいと思います。

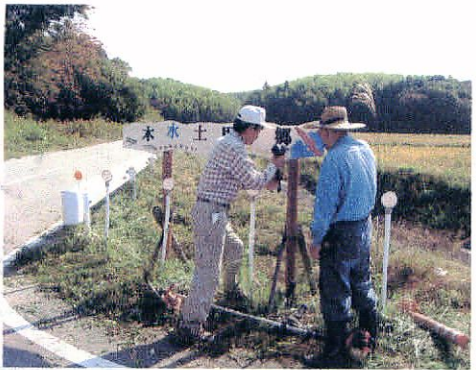
次のクリーン作戦も僕は参加しようと思います。

「山添木水士里ネット」って？  
伊賀町自治会報告  
渋谷 秀昭

山添を訪れる方が、看板を見て時々聞かれます。「山添木水士里ネットって何ですか？」

このネットは、木と水と土とそれらを含めた里山の環境を守っていくこと、平成十八年度に山添町で設立した組織です。土地改良区・営農組合・自治会・老人会・子供会・婦人会で構成されています。

きっかけは、平成十二年度にほ場整備が計画されましたが、その事前調査で、土水路にホトケドジョウやメダカなど百種類を超える稀少動植物の生息が確認され、ほ場整備事業でこれらの種が影響を受けると考えられたためです。そのため、生態系保全型の整備に計画変更されました。



案内板を設置中の皆さん

まず、ビオトープを作り、稀少生物の移植を繰り返しながら三カ年かけて工事を実施しました。その後も毎年生息調査を行ってきました。

この活動は、平成十九年度から始まった国の「農地・水・環境保全向上対策事業」として認められ、より広がりを見せました。

活動目的を住民全員に意識してもらえよう、「山添宣言」を作り、公会堂に掲げています。すべての項目に「山添」と「自然」を入れ、豊かな自然環境を再認識して、より多くの方に長く楽しく保全活動に参加していただけるよう努めています。



生息物の調査中

知って得する昔の話

シリーズ その七

伊賀町の返馬(へんば)餅

伊賀町 三宅忠行

伊賀町は、明治七年に豊原村に編入されましたが江戸初期以来、独立した一村を形成していました。江戸時代後期に流行し

た洒落本(しゃれほん)の中に「面美多通身」(おもいたつみ)という書があります。江戸深川の遊郭(ゆうかく)で、伊勢参宮に行ったことのある客が芸者を相手に道中の自慢話をする中に「それで思い出した。櫛田の伊賀町におかんへんばという餅はつがもなくうまかったの」とあり、へんば餅を名物とした「おかん茶屋」の話が出てきます。

また同じ頃、出版された弥次さん喜多さんの二人道中でお馴染みの「東海道中膝栗毛」の中にも「右のかた、神山の菓師を打すぎ櫛田といふにいたる。ここにおかん、おもんといへる二軒の茶屋あり、餅の名物なり」とあり、「おかん茶屋」と「おもん茶屋」の話が出てくる。

「旅人はいづれにこころ移るやと、おもん、おかんが売れたる焼餅」という狂歌が一首添えられています。「こころ移る」とは、どちらの女性に心が移るのであるうかという意味を含め、焼餅(嫉妬)はその縁語になっています。

へんば餅といえば、今では小俣町のへんば屋がその代名詞になっているが、この伊賀町の名物であったことがわかります。伊賀町の池村安憲さん宅が、かつての「おもん茶屋」であり、

白壁、虫籠窓、瓦など往時のただ住まいが偲ばれる。「おもん茶屋」の東隣の森さん宅が「おもん茶屋」であったと云われています。



池村安憲さん宅

《募集》  
草刈り十字軍

日時 12月27日～  
1月17日の間  
まちづくり協議会では運動公園の草刈をして運営資金に充てたいと思っています。手伝っていただける方はセンターまで連絡を。

花いっぱい運動

青少年育成環境部

今年も環境部では、地域の協力を得て十一月二十七日の午後、掃水小学校四年生の生徒三〇人と総合学習の時間を利用して一緒にプランターに、昨年と同じくビオラ、パンジー等の苗を植えました。

作業終了後は、小学校、幼稚園、市民センターをはじめとする地域の主な施設へ配りました。



植栽中の4年生の皆さん

ふれあいウォーキングの実施

実施日 平成21年1月25日(日)  
雨天の場合は2月8日(日)  
集合場所 安楽天神 (駐車場有)  
受付 8時30分～8時50分  
出発 9時 終了予定 11時30分頃  
\* 事前申込は不要です。当日受付表にお名前を。  
コース 安楽天神→運動公園裾野→山添町西の里山→山添町神山神社 往復約6kmコースは平坦です  
お問い合わせ、多数の方の参加をお待ちしています。  
\* **1月25日は安楽天神の初天神です。**  
\* ウォーキング終了後は温かいものを用意する予定です。  
\* 寒い時期ですから、「ウインドブレーカー」、「ニットの帽子」、「マフラー」、「手袋」等の準備をしてください。  
\* 実施の問合せは「09035806881」まで。(当日のみ利用可)  
\* なお、25日は市長選挙が予定されています。参加する前、または終了後に投票にお出かけください。

今年は掃水まちづくり協議会も西黒部町で行われる凧揚げ大会に参加の準備をしています。  
豊原町の宇佐見さんを中心に凧作りの真最中です。寒い中ですが皆様是非見てください。

